

**製品名: インヒビン  $\beta$ E ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab00474**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、 $-20^{\circ}\text{C}$ で保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 39 kDa; Observed MW: 39 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	INHBE
別名	INHBE; Inhibin beta E chain; Activin beta-E chain
遺伝子 ID	83729
SwissProt ID	P58166
免疫原	抗血清はヒト INHBE の C 末端領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

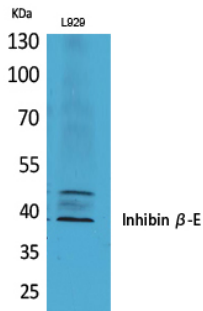
**背景**

インヒビンとアクチビンは、それぞれ下垂体によるフォリトロピンの分泌を阻害および活性化します。

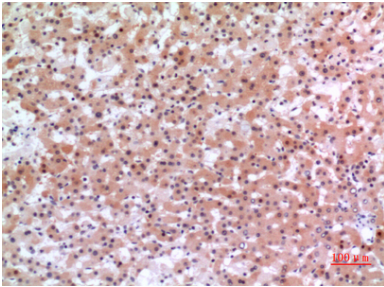
## 研究分野

シグナル伝達

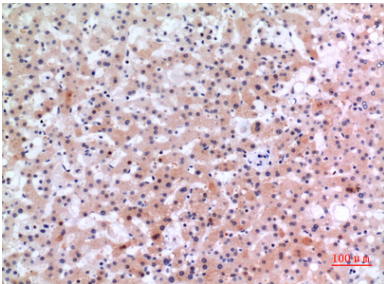
## 画像データ



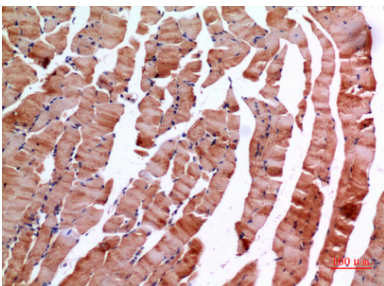
インヒビン ベータ E 抗体を使用した L929 溶解物中のインヒビン ベータ E のウェスタンブロット分析。



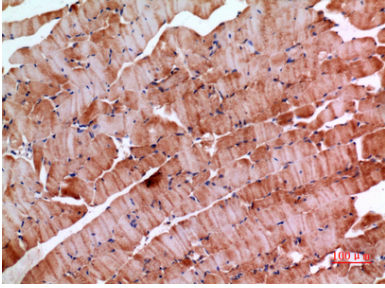
インヒビン ベータ E 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



インヒビン βE 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト肝臓の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



インヒビン ベータ E 抗体を使用したパラフィン包埋マウス筋肉の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



インヒビン ベータ E 抗体を使用したパラフィン包埋マウス筋肉の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。